

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第28号 平成21年 9月19日

チームの和で勝利をゲット！ 達脇DL入り、今後の展開は？

達脇ゲームを呼んだホームラン！



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
S	0	0	0	0	2	0	0	0	3	5
G	0	0	0	0	0	2	5	0	x	7

9/19(土)キリン登戸グラウンドで、成城ソネットスを迎え、オープン戦を行った。対戦前に相手チームのHPを探ってみたら、奪三振の多さが光ったので、対戦が非常に楽しみであった。後で分かった事だが、ノンプロ経験者だそうである。さー、ゲームは相手チーム先行で幕を開けた。今日の先発は、林、チームにおいて、貴重なレフティーが万を持してのマウンドに上った。初回は難なく3人で締め、続く2回に右中間に2ベースを打たれ、3塁までランナーを進めるも、バックの援護と自身の粘投で、0点を重ねた。点が動いたのは、5回表、1アウト後、続く打者に一・二塁間安打を許した、続く打者のサードゴロを深沢が3塁を踏み1塁に送球し、DPを狙ったが、若干1塁への送球が反れ、ファーストが弾いてしまい、2アウトランナー2、3塁、後続に2横安打を記録され、2点を献上してしまっ。終盤を迎えようとするこのタイミングでの失点は非常に重く感じたが、今日のベンチのムードは明るさ満点、失点を忘れる位のベンチ・ムードであった。逆転の足掛かりは、6回達脇の打席から始まった。初球をボールで見逃し、続く2球目、ベルトラインにきた打球を迷い無くスイング、角度は良いが、風に戻されるかベンチは心配、そのベンチの心配をよそに、打球は柵を越えていった。今期チーム4本目のHRは、2007年以来の記録、そして達脇自身も野球人生初との事「まじ、うれしいっす」。この得点を皮切りに、続く泉も嬉しい三遊間安打を放ち、須藤のサードゴロの間に、泉が一挙3塁への好走塁を見せた。続く哲也は、初球をきっちりセンターへ運び、これで、同点振り出しとなった。政司が、7回を締め、最終回の攻撃、2アウトをあっさり取られ、敗戦ムードが漂い始めたが、まだまだ行ける今日のベンチの雰囲気、続く打者の江越の打球は、ショート前のポテポテ、必死に走った江越が勝利内野安打、続く山田の打球も強烈なスピンの掛かった打球は、三塁手の方向へ、こらまた、必死に走った山田の勝ち、続く打者は、前の打席でホームランを放ち気を良くしている達脇、フルカウントの末、四球を選び、2アウト満塁、ここで打席は、先日ドームのゲームで、初球一振りの芸術を見せた、キャプテン政司、その事実を知ってか知らぬか？何とストレーットの四球で、あっさり、サヨナラ勝ちを収めた。今日の勝因は、前半を要所を締めた林の好投、結果、失策を記録もしているが、積極的な守備陣、打席においては、迷いのないコンパクトのスイング、そして何と云ってもベンチのムードであろう。野球は9人で行うもの、一人が失敗してもそれを残りの8人が吸収すれば良い、まさに今日はそんな内容であった。そんな中で暗雲が・・・

先発の一人である、達脇が、肩の違和感を感じDL入り、まだ若いだけに、大事にして欲しい！3本目の柱は、浅沼か竜か？後半投手の柱が心配になってきたぞ！